補足説明書

ー ST シリーズ専用一体型キット付き液晶ディスプレイー

C77635001

本書では、「ST シリーズ専用一体型キット付き液晶ディスプレイ」（以降、本機）の使用方法や注意事項、コンピューターの装着方法、本機に添付の 別冊『取扱説明書』の読み替え事項などを説明しています。

別冊『取扱説明書』とあわせてご覧ください。

目次

添付品の確認

別冊『取扱説明書』－「梱包品を確認する」または「添付品の確認」を、次のリストに読み替えてください。
万一、添付品の不足や不良がございましたら、本機に添付の 別冊『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧になり、担当窓口へご連絡ください。

ハードウェア

□ LCD ユニット（一体型キット付き）

□ VGA ケーブル（2 本：黒色・白色）

□ DVI-D ケーブル（2 本：黒色・白色）

□ 二股電源コード（1 本）
コンピューターの AC アダプターと本機の電源コネクターに接続します。
コンピューターに添付の電源コードは使用しません。

□ オーディオケーブル（2 本：黒色・白色）

マニュアル

□ 取扱説明書

□ 補足説明書（本書）

□ サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）

※梱包箱や梱包材は、輸送時などに備えて保管しておいてください。

外形寸法と質量

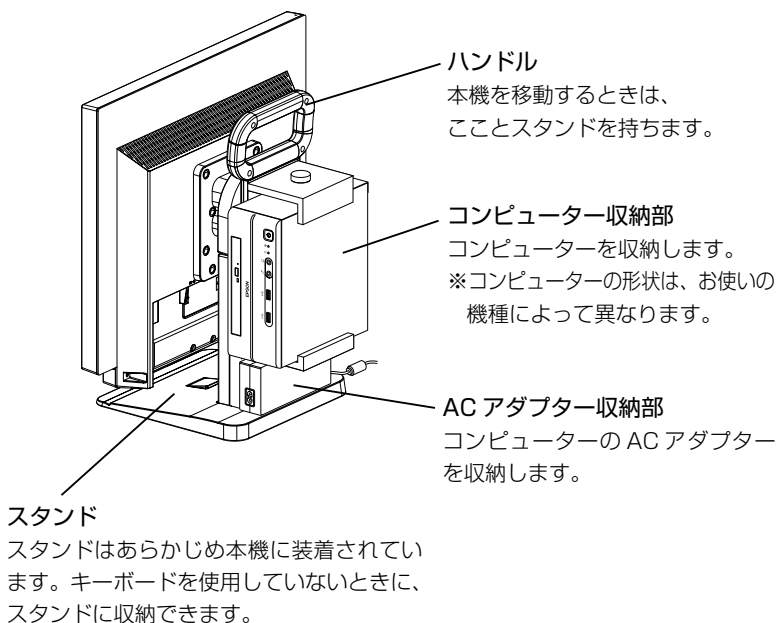
本機の外形寸法と質量は、次のとおりです。
別冊『取扱説明書』－「機能仕様一覧」の該当項目を、次の値に読み替えてください。

● 一体型キット付き 17 型液晶ディスプレイ

外形寸法 （幅×奥行き×高さ）	約 373mm ×約 278mm ×約 400 mm
質　量	約 7.5kg

各部の名称と働き

本機では、背面にコンピューターと AC アダプターを収納できます。
各部の名称は次のとおりです。

ディスプレイ部の各部の名称と働きは、別冊『取扱説明書』－「各部の名称と働き」 をご覧ください。

※本書で使用している本機やコンピューターのイラストは、お使いの製品と形状が一部異なる場合があります。

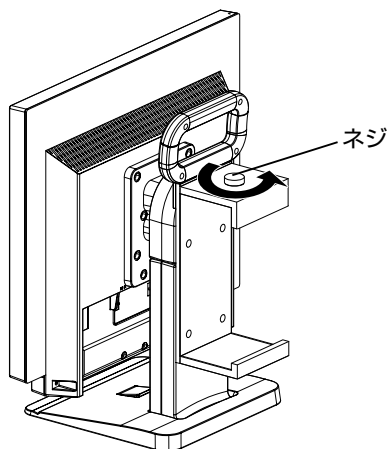
コンピューターを本機に装着する

コンピューターを本機に装着する手順は、次のとおりです。

別冊『取扱説明書』－「コンピューターと接続する」の接続方法を、次の手順に読み替えてください。

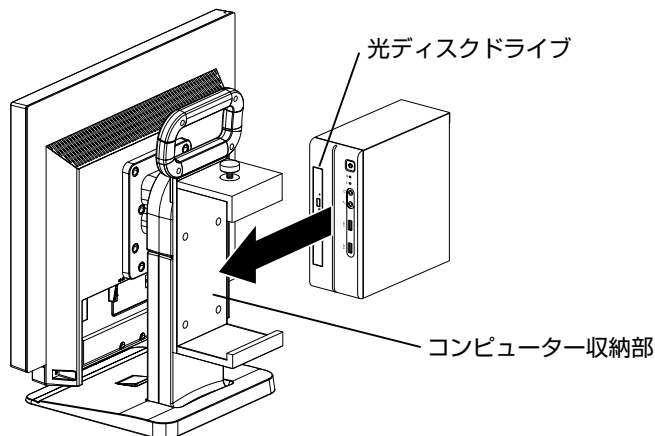
接続は、本機とコンピューターの電源を切った状態で行ってください。

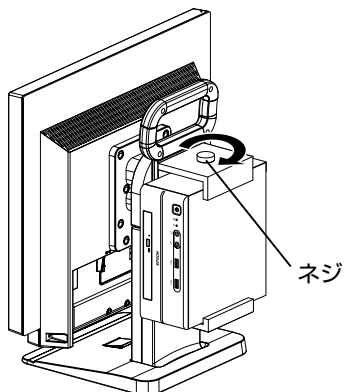
1 本機を設置場所（机などの丈夫で水平な台の上）に置きます。

2 コンピューター収納部のネジを緩めます。

3 コンピューターを本機に収納します。

コンピューターを収納しやすいように、必要に応じてスタンドを回転させた状態で作業を行ってください。

p.8「角度を調整する」

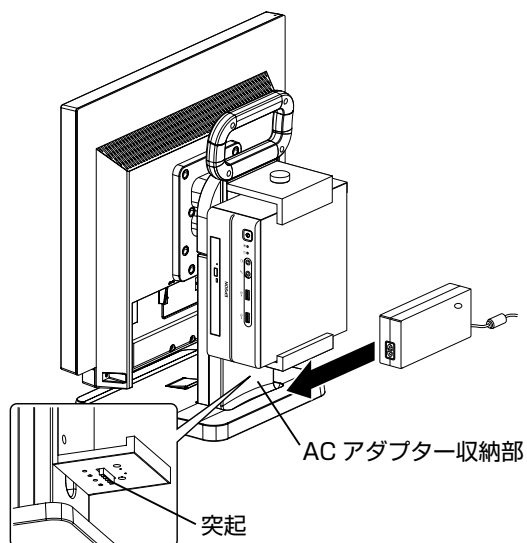
① コンピューターの電源スイッチや光ディスクドライブが、本機正面から向かって左側、または右側にくるように収納部に差し込みます。

制限　コンピューターが ST120/120E および ST125E の場合、光ディスクドライブのイジェクトボタンの位置が、必ず側面の下部にくるように装着してください。

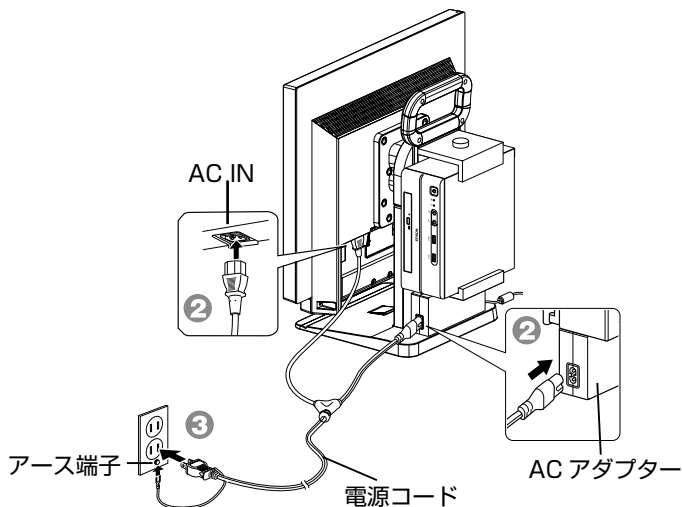
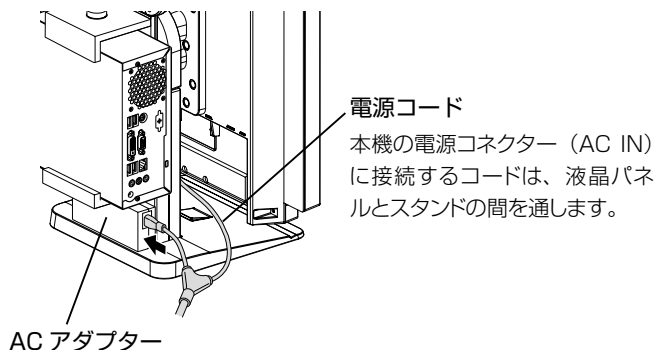
② 収納部上部のネジを締めて、コンピューターを固定します。

4 添付のケーブルで本機とコンピューターを接続します。

接続方法の詳細は、別冊『取扱説明書』をご覧ください。
なお、本機のスタンド部分には、ケーブルホールはありません。
本機とコンピューターの接続には、短いケーブル（白色）のご使用をおすすめします。

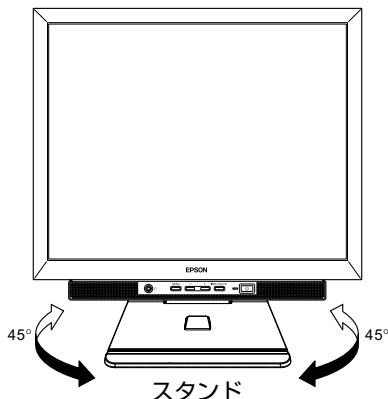
別冊『取扱説明書』－「コンピューターと接続する」手順３～５

5 コンピューターの AC アダプターを本機に収納します。

❶ 下図のとおり、AC アダプターをスタンド背面にあわせて、AC アダプター収納部に差し込みます。
ここでは AC アダプターのコネクターが本機正面から向かって右側にくるように収納していますが、本機正面から向かって左側にくるように収納することもできます。

❷ 本機に添付の二股電源コード（以降、電源コード）で、本機と AC アダプターを接続します。

❸ 電源プラグを家庭用電源コンセントに接続します。
アース線は、必ずコンセントのアース端子に接続してください。
コード部分がねじれたり、引っ張られたりしないように、位置を調整してください。

< AC アダプターのコネクターが左側の場合>
AC アダプターのコネクターを、本機正面から向かって左側にセットする場合は、下図のようになります。

コンピューターと AC アダプターの接続方法は、コンピューターに添付の 別冊『ユーザーズマニュアル』－「コンピューターを設置する」または「コンピューターの設置」をご覧ください。

角度を調整する

本機では、スタンド部分を左右に約 45°まで回転できます。
電源スイッチや光ディスクドライブを操作したり、ケーブル類を接続したりするときは、角度を調整すると操作がしやすくなります。

画面の角度を前後に調整する方法は、別冊『取扱説明書』－「画面の角度を調整する」をご覧ください。

キーボードを収納する

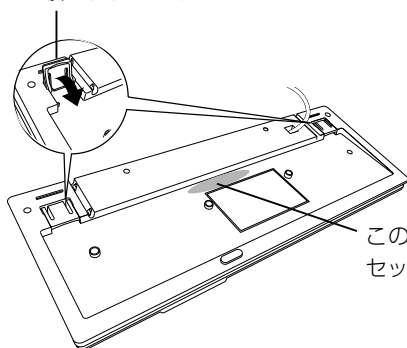
コンピューターを使用しないとき、キーボードを本機に収納できます。
収納方法は、お使いのキーボードによって異なります。

106 PS/2 コンパクトキーボードをお使いの場合

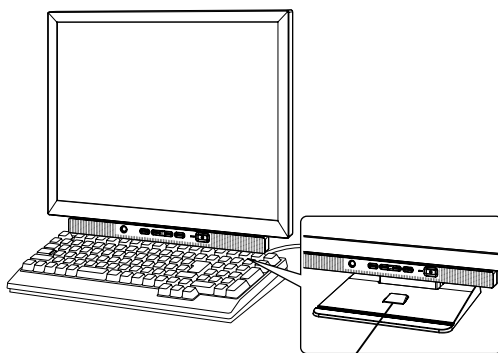
別冊『取扱説明書』－「キーボードスタンドを利用する」の手順を次に読み替えてください。

- 106 PS/2 コンパクトキーボードの収納は、必ず、本書の手順で行ってください。別冊『取扱説明書』の手順で、キーボードを LCD 画面に立てかけると、LCD 画面を傷つける可能性があります。
- 106 PS/2 コンパクトキーボード（ホットキー付）は、本機に収納できません。

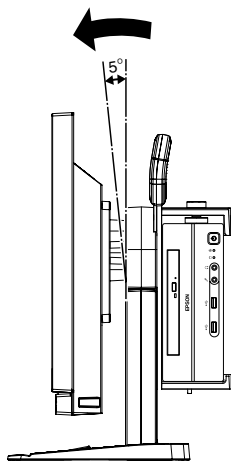
キーボードを収納する手順は次のとおりです。

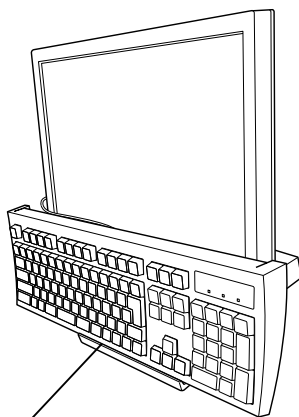
1 **キーボード背面で、スタンドの突起部にセットする位置を確認します。**

キーボード両側の脚を起こしている場合は、脚をたたみます。

2 **本機のスタンドの突起部に、キーボードの背面を引っかけてセットします。**

セットするときは、電源コードにキーボードを引っかけないように注意してください。

そのほかの キーボードをお使いの場合

別冊『取扱説明書』－「キーボードスタンドを利用する」手順 2 を、次の手順 1 ～ 2 に読み替えてください。

1 **画面の角度を前方に約 5°まで傾けます。**

2 **キーボードのキー側を手前に向けて、キーボードスタンドに立てかけます。**

立てかけるときに LCD 画面を傷つけないように注意してください。

本機を移動するときの注意

本機を移動するときは、次の点を守ってください。

- 本機のハンドルとスタンド部分を持ち、本機を水平な状態にして移動してください。
- 106 PS/2 コンパクトキーボードは、キーボードを収納した状態で移動することができます。
  そのほかのキーボードは、本機から取り外し、個別に移動してください。
- コンピューターや AC アダプターを装着し、キーボードを収納した状態で本機を移動するときは、事前にしっかりと固定されていることを確認してください。

本機を梱包箱に収納するときは

本機を輸送する場合など、梱包箱に収納するときは、コンピューターやキーボード、ACアダプター、ケーブル類をすべて本機から取り外してください。

※ 別冊『取扱説明書』にはスタンドの取り外し手順が記載されていますが、本機のスタンドを取り外す必要はありません。

修理のときは

本機とコンピューターでは、修理センターが異なります。

本機またはコンピューターで修理が必要になった場合は、本機からコンピューターを取り外して、それぞれの修理センターに送付してください。

修理センター（送付先）は、それぞれの 別冊『サポート・サービスのご案内』でご確認ください。

本機とコンピューターのどちらの不具合か不明な場合は、別冊『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、「カスタマーサービスセンター」にご連絡ください。